



# 令和6年度における職業訓練実施計画の 策定方針について

- 1 指標から分析した改善すべき方向性
- 2 令和6年度 全国職業訓練実施計画の策定に向けた方針（案）
- 3 令和6年度 愛知県職業訓練実施計画の策定に向けた方針（案）

令和5年11月14日

愛知県地域職業能力開発促進協議会



# 指標から分析した改善すべき方向性

就職率 高

## 【就職率「高」・応募倍率「低」の分野の改善方策】

求人ニーズの観点からは効果的な訓練と言えるが、受講者ニーズをとらえ切れていない可能性がある。

### <考えられる改善の方向性>

- 訓練コースが、求職者にとって応募や受講がしやすい募集日程・訓練日程となっているか要検討。
- 受講勧奨の段階で、訓練コースの内容や効果に関する周知の強化について要検討。

応募倍率  
低

## 【就職率「高」・応募倍率「高」の分野の改善方策】

求人ニーズ、求職者ニーズを踏まえた効果的な職業訓練と言える。

### <考えられる改善の方向性>

- 応募倍率が100%を超えている場合には、申込者数に応じた定員の拡充について要検討。

応募倍率  
高

## 【就職率「低」・応募倍率「低」の分野の改善方策】

求人ニーズ、受講者ニーズ双方をとらえ切れていない可能性がある。

### <考えられる改善の方向性>

- 求人ニーズ、受講者ニーズに即した訓練内容になっているか要検討。
- 就職支援策に課題がないか、強化する必要があるか要検討
- 訓練コースの周知や受講勧奨に課題がないか要検討。
- 以上を講じても改善されないときは訓練コースの縮小を要検討。

## 【応募倍率「高」・就職率「低」の分野の改善方策】

求人ニーズをとらえ切れていない可能性があるとともに、受講者に就職率が低いことが伝わっていない可能性がある。

### <考えられる改善の方向性>

- 求人ニーズに即した訓練内容になっているか要検討。
- 就職支援策に課題がないか、強化する必要があるか要検討
- 受講勧奨時に、受講者に必要な情報が伝わっているか、要検討。

就職率 低

# 令和6年度全国職業訓練実施計画の策定に向けた方針（案）

## 令和5年度計画と同程度の規模で人材を育成

### 実施状況の分析

応募倍率が低く、就職率が高い分野  
(令和4年度実績に該当する訓練分野)  
「介護・医療・福祉分野」

【委託訓練】令和4年度は応募倍率が更に低下し75.7%。就職率はやや向上。

【求職者支援訓練】令和4年度は応募倍率が大幅に改善し71.5%。就職率はやや低下。

応募倍率が高く、就職率が低い分野  
(令和4年度実績に該当する訓練分野)  
「IT分野」「デザイン分野」

【委託訓練】令和4年度は就職率はIT分野で改善。応募倍率はデザイン分野で156.8%と高倍率。

【求職者支援訓練】令和4年度はいずれも就職率が低下したが特にデザイン分野で大幅低下。応募倍率はいずれも上昇。



A 一部改善もみられるが、この分野の応募倍率は両訓練とも70%台であることから、引き続き、訓練コースの内容や効果を踏まえた受講勧奨の強化が必要。委託訓練についてはEの措置も併せて実施。

B 高応募倍率が続いていることから、IT分野、デザイン分野とも、一層の設定促進（F同旨）が必要。

C 他方で、特にデザイン分野は就職率が低いことから、求人ニーズに即した効果的な訓練内容か検討が必要。

D 就職率向上のため、受講希望者のニーズに沿った適切な訓練を勧奨できるようハローワーク訓練窓口職員の知識の向上や事前説明会・見学会の機会確保を図るとともに、訓練修了者の就職機会の拡大に資するよう訓練修了者歓迎求人等の確保を推進する等の取組推進が必要。

### 計画と実績の乖離

委託訓練の計画数と実績は乖離。さらに令和4年度は委託訓練受講者が減少。



E 開講時期の柔軟化、受講申込締切日から受講開始日までの期間の短縮、効果的な周知広報等、受講者数増加のための取組が必要。

### 人材ニーズを踏まえた設定

デジタル人材が質・量とも不足、都市圏偏在が課題。（デジタル田園都市国家構想総合戦略）



F 職業訓練のデジタル分野への重点化を進め、一層の設定促進が必要。

# 令和6年度愛知県地域職業訓練実施計画の策定に向けた方針（案）

## 令和5年度と同程度の規模で人材を育成

### 実施状況の分析

応募倍率が低く、就職率が高い分野  
(令和4年度実績に該当する分野)  
「介護・医療・福祉分野」

#### 【委託訓練】

当該分野の応募倍率は令和3年度84.6%に対し、令和4年度は63.8%に低下。就職率は向上。

#### 【求職者支援訓練】

応募倍率は前年度に対し向上。就職率は低下。

応募倍率が高く、就職率が低い分野  
(令和4年度実績に該当する分野)  
「デザイン分野」

#### 【委託訓練】

当該分野の応募倍率は令和4年度も高いものの、前年度より低下。就職率は向上。

#### 【求職者支援訓練】

応募倍率は前年度に対し向上。就職率も向上。

・公共訓練（委託訓練）、求職者支援訓練ともに前年度に対し、一部改善は見られたものの、両訓練とも応募倍率が60～70%台と低調であるため、引き続き訓練コース内容や訓練効果を踏まえた受講勧奨の強化が必要。

・デザイン分野（主にWebデザイン）は両訓練とも200%前後の応募倍率であり、更なる設定促進が必要。ただし、就職率は目標（委託訓練75%以上、求職所支援訓練（実践コース）63%以上）を達成しているが、求人ニーズに即した効果的な訓練内容であるか等の検討が必要。

・デジタル分野（IT分野及びデザイン分野のうちWebデザインコース）の就職率向上のため、ハローワーク職員の知識向上や訓練実施施設への見学会・事前説明会参加の機会確保と訓練修了者の就職機会拡大に資するよう訓練修了者歓迎求人等の確保等の取組推進が必要。

### 計画と実績の乖離

委託訓練、求職者支援訓練とも、計画定員数に対する実行率は90%以上と乖離は見られないが、受講者は令和3年度に対し委託訓練では15.4%減少、求職者支援訓練では61.3%増加。

・委託訓練の受講者減少は全国的な傾向となっているため、受講者確保の対策は喫緊の課題  
→愛知県及び愛知労働局において引き続き対策を検討

### 人材ニーズを踏まえた設定

デジタル人材が質・量とも不足  
(デジタル田園都市国家構想総合戦略)  
(あいちデジタル人材育成アクションプラン)

・職業訓練のデジタル分野への重点化を進め、一層の設定促進が必要。

### 公的職業訓練の改善等

ワーキンググループの効果検証を踏まえた改善策等の実施

・令和6年度に実施する「営業・販売・事務分野」及び「デジタル分野」訓練に検証を踏まえた改善策を実施し、その後の効果（就職率の向上等）を検証。「理美容分野」について効果検証を踏まえ、認定規模の縮小も検討。愛知の企業に選ばれる人材育成を実践。